

○義務教育適正配置 東小学校 PTA 意見交換会 会議録要旨

- 1 日 時 平成29年5月20日(土) 午前10時30分から午前11時50分まで
- 2 場 所 東小学校 なかよしホール
- 3 出席者 東小学校 PTA 木戸秀次(会長)ほか 28名
東小学校 大川校長・伯耆田教頭・足達教務主任
学校教育課 飯泉課長・鈴木補佐・石引
- 4 協議内容 ①課長あいさつ
②国・県の学校規模の考え方について
③つくばみらい市義務教育施設に関する基本的な考え方について
④事前交流活動の事例について
⑤次回の意見交換会について
- 5 配布資料 義務教育施設適正配置東小学校 PTA 意見交換会(資料)
- 6 会議録要旨

①国・県の学校規模の考え方について

学校教育課	国・県の学校規模の考え方について説明。
PTA	学級編制基準の根拠はありますか？
学校教育課	公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律により、学級編成の標準定数が40名と定められています。
PTA	これまでの学級規模の変遷と、一学級40名と定めた研究結果等があれば教えていただきたい。
学校教育課	調査の上、次回に回答いたします。

②つくばみらい市義務教育施設に関する基本的な考え方について

学校教育課	つくばみらい市義務教育施設に関する基本的な考え方について説明。
PTA	複式学級に対して、特別なデメリットは感じていないというのが率直な感想です。他の保護者の方は、東小学校の複式学級でのメリット、デメリットについて、どのように考えていますか？
PTA	複式学級のメリットとして、他学年との交流ができ、助け合いの気持ちが育成されています。先生方も子供たちをよく見てくれており、先生方の負担は大きいのかなと思いますが、子供たちはそれほど不便を感じてはいないと思う。デメリットは、そもそも人数が少ないことが当たり前で学校生活を送ってきているので、あまり感じません。
PTA	特にデメリットを感じたことはありません。子供からも不満を聞いたことはありません。
PTA	子供から複式学級がイヤだといわれたことはなく、親としても上の子が

<p>PTA</p> <p>学校教育課</p>	<p>下の子の面倒を見るという関係性が自然と養われていると思う。</p> <p>現状の東小学校では、人数が少ないということは、特に教育上のデメリットにはなっていないというのが PTA としての認識です。もちろん、体育等での人数的な課題はあるが、社会的自立の基礎、国家社会の形成者としての基本的資質を養う教育はできている。また、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することについても既にできている。もう少し人数が多くなると、いろいろなことが学べないという認識ではない。</p> <p>教育委員会としましては、児童数が少ないということで、東小学校における教育に問題があるということを示しているのではないということをご理解いただきたいと思います。これまでのご意見からも、PTA の皆様や校長先生をはじめとする先生方のご努力により、東小学校の児童が、不安を抱くことなく学校生活をおくれていることに感謝いたします。</p> <p>保護者の皆様と共有したい情報として、文部科学省での、平成32年度から学習指導要領の改訂がございます。これは、これまでの学力の育成に加え、その知識や情報を活用する能力を育てる教育「生きる力の育成」、 「主体的・対話的で深い学び」を推進する内容となっており、知識を活用する、説明する、評価し、判断し、決定する力などを育てようとするものです。</p> <p>多様な考え方に触れることや認め合い、協力する、切磋琢磨することは、人数が少なくても当然できることですが、教育委員会としましては、小学1年生であれば小学1年生レベルでの教育・経験、小学2年生、小学3年生それぞれのレベルに応じた教育や経験する機会を一つでも多く持たせ、子供たちのその年齢に応じた教育をし、生きる力を育てたいと考えています。</p> <p>子供たちが義務教育の期間に、何の問題もなく学校生活を過ごし、卒業させればそれで良いということではなく、子供たちの未来を見据えた教育を推進したいと考えています。</p>
<p>PTA</p> <p>学校教育課</p>	<p>新1年生の保護者もいるので、学校再編対象校や跡地利用、スクールバスについて、現状での市の考え方を説明していただきたい。</p> <p>東小学区と板橋小学区との再編とし、再編時期は平成31年度を目途として計画しております。跡地利用については、街づくりの観点から市部局に対しまして調査をかけているところです。スクールバスについては、バスルートやバスの大きさについて検討中です。跡地利用、スクールバスについては、次回皆様にご提示したいと考えております。</p>
<p>PTA</p>	<p>現段階において、「学校再編をする・しない」について方向性はどのようになっていますか？ また、学校再編をするのであれば、具体的なスケジュールはありますか？</p>

<p>学校教育課</p>	<p>学校再編の方向性につきましては、意見交換会を開催し、理解を得られたところから進めてまいります。学校再編の時期は平成31年度として計画しておりますが、東小学校区、板橋小学校区の皆様のご理解、ご協力を得て実施するものであると考えておりますので、もう少し時間がかかるのかなと考えております。</p>
<p>PTA</p>	<p>理解を得たうえで、学校再編を進めていくということだと思っておりますが、理解とはどういう基準で進めていくのか、また、これまでのペースで理解を得ることが可能なのかどうか教えていただきたい。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>反対される理由を解決できるかということが第一だと考えています。また、今後は、今回のような意見交換会を1ヶ月ないし2ヶ月に1回は開催し、皆様とやり取りをしながら一緒に考えていきたいと考えております。</p>
<p>PTA</p>	<p>個人的な感想としては、自分自身が1クラス20名の学級で、東小学校を卒業して、中学、高校、大学、社会人と環境が変化する中で、色々な性格や考え方の人との関わりが増えた。子供の数が多ければ、子供のうちからその分だけ、さまざまな考え方に早め早めに触れることができるということは、良いことかなと感じました。また、同年代の友達がたくさんいる中で、自分の意見を言える、海外へ行ってみたいという発想を持つなど、子供がどう感じるかが大切だと思いました。</p>
<p>PTA</p>	<p>東小学校は、地域の方々との関わりが密であり、文部科学省で進めている「コミュニティスクール」を実践している状況である。学校再編をしてしまうと、これまでの地域との繋がりがなくなってしまうのではないかと。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>学校にとって、地域との繋がりは重要であると考えます。東小学校、板橋小学校ともに、地域との繋がりについてはそれぞれの歴史や伝統があります。学校再編によって、両方の学校の良さを受け継ぐ形で協議していくことが大切であると考えます。</p>
<p>PTA 学校教育課</p>	<p>東小学校が存続する確率は0%なのか？ 確率で0%かといわれれば、0%ではないという回答となります。現在、皆様と協議をさせていただいていく中で、最終的な結論が出ていくものと考えております。</p>
<p>PTA 学校教育課</p>	<p>正当な理由があつて、周りの反対が多ければ、東小学校は存続することができるということでしょうか？ それも有だと思えます。地域の皆様からも、歴史的な部分についてお聞きし、承知しております。ただ、学校再編に関しましては、子供たちの未来のために、これからの教育環境がどうあるべきか、子供たちを中心に捉えて協議していただきたいと思えます。</p>

③事前交流活動の事例について

学校教育課	事前交流活動の事例について説明。
PTA	資料裏面の事前交流活動は、現在、東小学校と板橋小学校で実施していますか？ 実施していない場合、平成30年から行うとなると、学校再編計画の平成31年まで一年間しかない。もっと早い段階で交流会を実施するべきではないか？
学校教育課	<p>現在交流活動は行っておりません。事前交流事業については、今年度から、東小学校、板橋小学校、伊奈東中学校の先生方と具体的に協議し、進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、是が非でも平成31年度に学校再編するというのであれば、ご指摘のとおりだと思います。</p> <p>今後、事前交流活動による子供たちの状況を見ながら、意見交換を重ねるにつれて、学校再編をいうということになれば、より効果的な事前交流事業の内容を計画し、進めてまいりたいと考えております。</p>

④次回の意見交換会について

学校教育課	<p>次回は、学級編制についての根拠、跡地利用、スクールバス関係についてご説明させていただきます。</p> <p>日程については、6月16日・17日あたりで開催させていただきたいと考えておりますが、具体的には、PTA 会長と調整させていただき、日程を決めさせていただきます。</p>
PTA	<p>次回の意見交換会のテーマを知っていると多くの意見が出やすいと思いますので、事前に内容を周知してください。</p>
学校教育課	<p>次回の意見交換会の開催日程とテーマを併せてご周知させていただきます。また、東小学校保護者様に加え、東小学校区の未就学児の保護者様にもご参加いただけるよう、周知したいと考えております。</p>